

声 明

本日 9月定例岡山市議会が閉会した。我が党市議団は議案提案権を行使し、議員の費用弁償を全額廃止するよう、条例改正案を提案した。しかし残念ながら提案した条例は、日本共産党市議団以外の会派の理解が得られず「否決」された。

今、政府のすすめる構造改革のもと、年金のカット、所得税・住民税の増税、これに連動し国民健康保険料・介護保険料のひきあげをはじめ、相次ぐ社会保障制度の改悪で市民の暮らしは大変な状況である。

議員 1人あたり、月 13万 5千円支給されている政務調査費には交通費としての燃料代も含まれている。そのうえ「費用弁償」というのは市民の理解が得られないと考える。

我が党市議団は、10月より 議員の費用弁償の受け取りを辞退することを表明する。

2006年9月26日

日本共産党岡山市議団

田畑賢司
崎本敏子
竹永光恵
藤沢和弥
稲葉泰子